

【別添2】(様式例1)

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立東濃実業高等学校

学校番号

40

1 学校教育目標	○地域の未来を創出する人材の育成 (1) 他者とのかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備えた生徒を育てる。 (2) 確かな教養に裏付けされた専門的知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける生徒を育てる。					
2 現状の分析	○商業科及び生活産業科を併置する専門高校として、特色ある専門教育を実施し成果をあげている。特に、地域と連携した地域貢献活動やボランティア活動、また、挨拶・身だしなみやマナーといった「東実ブランド」が、地域の方々や中学生の間で評価されている。 ▲新学習指導要領について職員が理解し、令和4年度実施に向けて準備する。特に観点別学習状況評価の規準整理が急がれる。					
3 学校の抱える課題	・学習指導及び部活動指導その他校務分掌に関わる長時間勤務や多忙化解消に向けた取り組みを推進していく。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための教育課程の編成を行い、商業と生活産業の教育目標を達成すべく、ICTを有効活用しながら地域の企業等と連携して実践的な学びを推進する。					
4 今年度の具体的な重点目標	◇地域社会の実態と時代の変化に即して、地域の暮らしをつくる「ひと」「もの」「情報」「サービス」を、うごかす力・つなぐ力・つくりだす力を育成する。					
年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
人権教育 特別活動	①校則の見直し	①生徒・保護者・地域の声	①生徒会・生徒総会で変更案作成	A	○生徒の主体性育成 ○生徒の見守り機会増加 ○アンケート結果肯定95%	A
	②『新しい行動様式』の徹底	②コロナ感染者数	②マスク着用と健康チェック徹底	A		
	③言語能力の育成	③アンケート	③工夫した文化祭等特別活動活発化	A		
学習指導 進路指導	①個別最適化に向けた指導	①定期考査結果	①成績不良者数が微増	B	▲学習支援ソフト導入検討 ▲インターンシップ充実 ○DX推進	
	②キャリア教育充実	②進路結果	②就職、進学とも進路希望100%	A		
	③主体的対話的で深い学び	③生徒の感想、研究授業	③ICT機器活用	A		
専門教育	①地域や企業との連携	①アンケート	①授業に満足している85%	B	▲グローバルな視点必要 ○県内全域にPR ○デジタル社会に対応	
	②学習成果発表会	②学校運営協議会委員等感想	②地元ケーブルテレビで放送	A		
	③施設・設備の整備	③担当教師、生徒の感想	③調理実習室等更新	A		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年1月27日

<p>△交通安全に関する具体的な指導を再徹底されたい。 △近隣駐車場における自家用車送迎時のルールについて再認識を促すこと。 ○100周年式典での生徒の姿が素晴らしかった。 ○ICTを活用した授業がとても良い。介護実習なども動画撮影しながら確認していた姿が印象的であった。 ○コロナ禍でも工夫をして地域で活動している。吹奏楽部の定期演奏会、古刹願興寺における箏曲演奏やファッションショーなどが一例である。</p>
--

12 来年度に向けての改善方策案

- ・自転車並走禁止や自動車運転者に対する明確な意思表示の仕方を指導する。
- ・保護者に対し、三者懇談や説明会、メール等でより具体的に説明していく。
- ・学校運営協議会で決定したスクール・ポリシーについて教職員が理解し、地域の未来を創出する人材の育成に取り組む。
- ・ICTをさらに活用し、新学習指導要領に対応した授業展開を行うとともに、校務分掌についてもデジタルトランスフォーメーションを推進する。
- ・アフターコロナにおいて、地域を学びの場とする考え方を強化し、名鉄広見線存続を含めた御嵩町との連携、地元企業等との協働や研究開発をより積極的に行う。